

教育委員会

(予 算 額)

(決 算 額)

総務課

I 事務局費

1	教育広報事業	16,199	16,168	教育委員会の広報活動を推進するため、県域テレビ・ラジオで教育番組を制作・放送するとともに、教育広報紙の発行を行った。
---	--------	--------	--------	--

II 教育振興費（中学校費）

1	県立中学校一般運営費事業	34,921	34,902	県立併設型中学校5校の管理運営を行った。
---	--------------	--------	--------	----------------------

III 全日制高等学校管理費

1	全日制高等学校一般運営費事業	1,215,949	1,144,018	全日制高等学校29校、分校4校の管理運営を行った。
---	----------------	-----------	-----------	---------------------------

IV 定時制高等学校管理費

1	定時制高等学校一般運営費事業	65,429	62,975	定時制高等学校7校の管理運営を行った。
---	----------------	--------	--------	---------------------

V 教育振興費（高等学校費）

1	全日制高等学校遠距離通学費等補助金事業	2,600	2,600	特別地域（山間・へき地）から通学する県立全日制高等学校生徒に対し、通学費等の一部を補助することにより修学の機会均等を図った。
2	教育設備等整備事業	402,381	402,032	高等学校の産業教育設備、理科に係る設備の充実を図るため、実験・実習用備品の整備を行った。また、情報処理教育の充実を図るため、情報機器の設備更新等を行った。
3	高等学校就学支援事業	2,115,432	2,049,949	教育に係る経済的負担軽減を図るため、公立高等学校の授業料の支援を行った。

VI 学校建設費

1	校舎等指定修繕事業	416,424	368,212	高等学校2校において、トイレの改修工事を行った。 ・和歌山北高等学校北校舎 教室棟トイレ改修工事 ・田辺高等学校 管理棟、体育館トイレ改修工事
2	諸施設整備事業	139,197	111,894	高等学校1校において、受変電設備の改修工事を行った。 ・熊野高等学校 受変電設備改修工事

3	さわやかクール教室整備事業	178,818	168,730	高等学校5校において、普通教室空調設備の更新を行った。 ・橋本高等学校、那賀高等学校、海南高等学校、日高高等学校、田辺工業高等学校
VII	特別支援学校費			
1	特別支援学校一般運営費事業	915,919	880,621	特別支援学校10校の管理運営を行った。
VIII	教育振興費（特別支援学校費）			
1	特別支援学校教育設備等整備事業	64,460	59,923	特別支援学校の教材の整備等を行った。
IX	特別支援学校建設費			
1	南紀・はまゆう支援学校再編整備事業	506,428	495,117	南紀はまゆう支援学校の既存校舎等解体工事及び校地等の整備を行った。
2	紀北支援学校校舎等整備事業	398,746	215,680	紀北支援学校の寄宿舎の撤去及び浄化槽取替工事を行った。
(前年度繰越分)				
1	南紀・はまゆう支援学校再編整備事業	67,160	67,160	南紀はまゆう支援学校の既存校舎等解体工事を行った。
X	自然博物館費			
1	教育普及展示事業	8,591	8,498	自然博物館において、自然に関する知識を広く県民に普及させるため、特別展を1回、講演会を1回開催した。また、小・中学校や教育団体等を対象とした出前教室を14回（対象665人）、各種イベント25回実施した。 ・年間入館者数 122,341人

教育政策課

I	教育連絡調整費			
1	教育改革推進事業	2,456	2,241	全国から志の高い高校生が集う合宿形式のセミナーの運営に要する経費の支弁を行い、県内の生徒等に対する教育の充実を図った。

2	教育ネットワーク・ＩＣＴ環境整備事業	859,035	856,652	県立学校のインターネット回線の増強及び校務支援システム等のクラウド化を行った。
3	きのくにＩＣＴ教育事業	37,057	36,992	また、教育ネットワーク及び校務支援システム等の保守・運用を行った。
				県内全ての公立学校においてプログラミング教育を実施した。また、プログラミングについての教員研修を実施するとともに、プログラミング教育支援員を公立学校に派遣した。
4	ＩＣＴ活用教育推進事業	99,626	95,194	ＩＣＴの活用を図るため、効果的な実践事例の創出や共有を行うとともに、県立学校にＩＣＴ支援員を派遣した。
5	近代美術館・博物館の活用促進事業	13,182	12,983	県内のこどもたちが県立近代美術館・博物館へ来館し、両館が保有する優れた教育資源に触れる機会を創出することで、学校教育の充実を図った。
6	公立学校情報機器整備基金活用事業	1,338,918	1,336,235	初等中等教育段階の公立学校における情報機器の整備のため、県内の27市町村に対して補助を行った。
7	公立学校情報機器整備基金事業	1,006,947	1,006,877	初等中等教育段階の公立学校における情報機器の整備のため、基金の積立を行った。

Ⅱ 美術館費

1	展覧会開催事業	16,576	16,381	県立近代美術館において、国内外の作家の優れた美術品を鑑賞する機会を提供するための企画展を３回、美術館所蔵の美術品を広く公開する常設展（コレクション展・特集展示）を４回開催した。また、特別展「生誕120年 村井正誠展 色のやどり・形のうぶすな」を開催した。 ・年間入館者数 62,505人
---	---------	--------	--------	---

教職員課

Ⅰ 教育連絡調整費

1	これからの和歌山の教育をつくる教職員の育成事業	1,870	1,371	将来管理職になっていく中堅教員を対象に、学校を管理運営する資質能力を育成するミドルリーダー育成研修、マネジメント力向上研修、学校運営ゼミナール、学校運営基礎ゼミナールを開催するとともに、公立学校運営基礎資格試験を実施した。
---	-------------------------	-------	-------	---

人権教育推進課

Ⅰ 教育連絡調整費

1	人権教育推進事業	1,395	1,254	同和問題をはじめとした様々な人権問題の解決を目指し、学校における人権教育の推進を図るため、教職員対象の研修及び学校訪問を実施した。
---	----------	-------	-------	---

Ⅱ 社会教育総務費

1	人権教育総合推進事業	11,203	9,918	人権問題に対する理解と認識を深め、差別意識の解消を図るため、人権教育啓発事業、保護者学級開設の支援、研修会の実施及び啓発パンフレットの作成を行うとともに、障害のある人への学習活動の支援及び識字教育の充実に向けた学習会等の開催を行った。
2	学びのセーフティネット事業	28,504	24,596	年齢や国籍に関係なく、学び直しを希望する社会人等に学習機会を提供するため、県立高等学校4校できのくに学びの教室を開設した。 ・受講者数 129人

生涯学習課

I 教育連絡調整費

1	奨学のための給付金（公立分）事業	392,779	343,849	授業料以外の教育費負担を軽減するため、高校生等がいる低所得世帯に対して給付金を支給した（2,584件）。
2	和歌山県大学生等進学支援金事業	83,721	79,425	学業に対する意欲と能力の高い者が、経済的な理由に左右されることなく大学等で修学し、将来的に地域社会の担い手として活躍できるよう支援金を貸与した（132人）。

Ⅱ 社会教育総務費

1	障害者のための生涯学習支援者派遣事業	900	899	障害のある人を対象とした訪問型の講座を開設し、学びのニーズに合わせた講師等を派遣することで、障害者のための生涯学習の機会の充実を図った。 ・143回講座を実施
2	きのくにコミュニティスクール推進事業	1,513	814	きのくにコミュニティスクール推進に係る研修会やフォーラムを開催するとともに、県内2箇所で開催を行い、コミュニティ・スクールに対する理解の促進と地域の実情に合わせた取組の充実を図った。また、和歌山県CSマイスターを派遣し、学校・家庭・地域が連携してこどもたちの育ちを支える体制づくりについての指導・助言を行った。
3	地域と学校の連携・協働体制推進事業	36,472	27,393	放課後や週末等に学校の余裕教室等を活用し、幅広い地域住民の参画により、学習支援や体験活動、大人との交流活動の機会を提供する市町村を支援した。 ・23市町126箇所
4	訪問型家庭教育支援事業	16,546	13,848	家庭教育支援の意義や支援の知識、手法を学ぶことのできる啓発的な講座と、家庭教育支援チームの支援員等の資質向上を図る専門的な講座を開催した。また、訪問型家庭教育支援に取り組む市町村を支援した。 ・12市町

Ⅲ 視聴覚教育費

1	文化情報センター運営事業	17,865	16,747	県の生涯学習推進の拠点施設として県民の幅広い生涯学習活動の推進を図るため、県民カレッジや様々な事業の情報提供等を行うとともに、外部コーディネーターによる優れた音楽や文化を発信した。
---	--------------	--------	--------	--

Ⅳ 図書館費

1	蔵書充実事業	69,190	68,422	県の中核図書館として、広く県民の生涯学習ニーズに応えるため、課題解決やこどもの読書推進に必要な資料を充実させた。また、和歌山県に関する資料を収集した。 ・令和6年度末蔵書冊数 1,121,931冊 ・令和7年度末蔵書冊数 1,136,307冊
2	南葵音楽文庫事業	5,431	5,431	寄託された紀州徳川家ゆかりの南葵音楽文庫を保管・整備するとともに、同文庫を活用した啓発・普及活動を行った。

文化遺産課

Ⅰ 文化財保護費

1	文化財保護育成補助事業	51,711	51,711	国・県指定等文化財及び埋蔵文化財の保存と活用を図るため、所有者等が実施する文化財保存事業に対して補助した。 ・建造物、美術工芸品、記念物等の保存修理等に係る補助金 35件 (国指定等文化財：25件、県指定文化財：10件) ・埋蔵文化財の発掘調査等に係る補助金 5件
2	世界遺産管理事業	12,289	12,287	世界遺産「紀伊山地の霊場と参詣道」の保全を図るため、所有者等が実施する建造物、参詣道等の復旧・維持管理事業21件に対して補助した。また、世界遺産の日常管理及び追加登録に向けた現地調査を行うとともに、追加登録の機運醸成及び次世代に対する普及教育の一環として、学術講演会及びパネル巡回展を開催した。
3	岩橋千塚古墳群追加指定事業	431,252	418,880 〔翌年度繰越額 11,994〕	特別史跡岩橋千塚古墳群の保存と活用を図るため、第4次追加指定範囲約98万㎡のうち約31万㎡の公有化を完了した。また、第5次追加指定候補範囲について、森小手穂埴輪窯跡の発掘調査を行い、地域住民等を対象として調査地を公開するとともに、当該範囲の土地境界確定に必要となる資料調査を実施した。
4	未来につなげる文化財次世代継承事業	32,813	32,520	災害や盗難への備えとして、歴史的建造物、仏像等のデータベース化を推進するとともに、市町村が実施する重要文化財公有化事業1件及び所有者が実施する登録有形文化財保存修理事業6件に対して補助した。また、近代の文化遺産に関する歴史的事象（テーマ）ごとの詳細調査を実施し、その成果をまとめた報告書を刊行した。

5	特別史跡岩橋千塚古墳群 等保存整備・活用事業	75,478	31,566 〔 翌年度繰越額 43,793 〕	天王塚古墳の墳丘整備工事として墳丘北側の整備を行った。また、前山A111号墳の竪 穴系埋葬施設の整備など、特別史跡岩橋千塚古墳群の保存と活用を図る上で必要な整備 を推進した。
(前年度繰越分)				
1	文化財保護育成補助事業	14,294	14,294	国指定文化財の保存と活用を図るため、所有者等が実施する文化財保存事業に対して補 助した。 ・史跡の買上げ等に係る補助金 2 件 ・災害復旧に係る補助金 1 件
II 博物館費				
1	展覧会開催事業	12,876	12,676	県立博物館において、特別展を 1 回、企画展を 3 回開催した。また、県民の生涯学習等 の充実に資するため、本県の原始から近現代に至るまでの歴史と文化を紹介する常設展 を開催した。 ・年間入館者数 24,909 人
III 紀伊風土記の丘管理費				
1	展示・調査事業	16,684	16,398	紀伊風土記の丘において、調査研究の成果をもとに特別展を 2 回、企画展を 2 回開催し た。また、常設展を開催した。 ・年間入館者数 13,194 人
2	ふるさと紀の国ふれあい 体験事業	2,268	2,073	郷土の歴史や文化に対する関心を高めるため、小学生から大人までを対象に、埴輪の製 作体験をはじめとする各種催し物を開催した。 ・参加者数 延べ4,218 人
3	紀伊風土記の丘新館建設 事業	502,981	148,694 〔 翌年度繰越額 353,562 〕	令和 6 年 7 月から令和 7 年 7 月までの工期で、新館等用地の造成を行う造成第 1 期工事 を実施した外、体験学習棟の建築工事に着手した。
県立学校教育課				
I 教育連絡調整費				
1	国際人育成プロジェクト 事業	132,600	131,977	実践的な英語力向上に向けた授業改善を目的とした高等学校の英語科教員対象の研修や、 高校生英語ディベート大会等を開催した。

2	きのくに科学オリンピック事業	622	368	高校生を対象（参加：6校・14チーム）に科学や理数系分野への学習意欲の向上を図り、科学技術の発展を担う人材を育成することを目的としたきのくに科学オリンピックを開催し、「科学の甲子園」全国大会への出場校を決定した。
3	就職支援プロジェクト事業	55,423	51,845	民間企業経験者14人を就職希望者の多い県立学校17校2分校に就職指導員として配置し、求人開拓、就職した卒業生の訪問、生徒への相談活動や社会人基礎力を身につけるための指導等を行った。
4	学習指導支援員派遣事業	1,592	893	若手教員等への学習指導等に関するスキルの継承を図るため、学習指導支援員を県立学校15校に派遣した（延べ69回）。
5	きのくにコミュニティスクール推進事業	3,124	2,514	全ての県立学校に学校運営協議会を設置し、地域住民や保護者等を委員に任命した。また、各協議会において、年間3回程度の会議を開催し、学校運営の基本方針の承認や課題解決のための具体的な手立てについての協議を行った。
6	わかやま農業教育一貫プロジェクト事業	685	325	農業系高校の学習成果を発表する場として、わかやま農業高校マルシェを開催した。また、学習内容や農業を支える人材育成について協議するわかやま農業教育推進協議会を開催した。
7	宇宙教育推進事業	8,058	6,361	児童生徒の宇宙をはじめとする科学への興味・関心を高めるため、シンポジウム及び関連イベントへの参加を促進した外、和歌山県宇宙教育検討会議を年間2回開催し、宇宙を題材に学習する高等学校のカリキュラム開発を行った。
8	教師力アップのためのサポート事業	2,962	2,457	教職員の資質向上等を図るため、公立学校教職員を中心としたグループが自主的に行う研修及び研究活動を支援した（計19団体）。
Ⅱ 文化振興費				
1	高等学校文化部活動支援事業	2,320	2,296	県高等学校総合文化祭の開催費を補助することにより、生徒の相互交流と芸術文化活動の活性化、文化部活動の発表の場の確保等を行った外、県立学校の文化部に対し外部指導者を派遣する等、高等学校文化部活動を支援した。
特別支援教育課				
I 教育連絡調整費				
1	特別支援教育振興事業	34,451	32,342	特別支援教育振興、就学指導、医療的ケア等に係る本県施策の推進に向けて意見徴収を行う有識者会議を開催した。また、特別支援教育を担う教職員の専門性向上のための研修や医療的ケア研修の実施、特別支援学校教諭二種免許状の取得に必要な単位を修得させるための講座を開設するとともに、特別支援教育啓発セミナー、巡回教育相談等を実施した。

2	特別支援学校看護師派遣事業	116,144	106,258	医療的ケアを必要とする児童生徒が在籍する特別支援学校9校及び高等学校1校に看護師を派遣し、医療行為等専門的な対応を行った。また、スクールバスの乗車が困難な医療的ケア児に通学支援を行った。
---	---------------	---------	---------	---

義務教育課

I 教育連絡調整費

1	国際人育成プロジェクト事業	5,445	4,327	学習指導に活用するため、中学校全学年を対象に英検I B A（R L）、希望する中学校の2・3年生を対象に英検I B A（W S）を実施した。また、英語教育における小学校教育と中学校教育の連携及び円滑な接続を推進するため、小中連携推進地域として2地域を指定し、授業研究会及び学習到達目標等の作成を行った。
2	きのくに科学オリンピック事業	757	458	科学に関心のある中学生が切磋琢磨する場を設け、科学や理数系分野への学習意欲の一層の向上を図った。また、1チーム6人編成から3人編成に変更し、A分野（情報、エネルギー、地球）か、B分野（数学、粒子、生命）のどちらかを選択して参加する形態とし、開催した。
3	学校図書館の充実事業	964	552	学校図書館の整備充実と活用促進を図るとともに、県内の公立小・中・義務教育学校の学校司書、学校図書館担当教員等を対象に研修会を実施した。
4	幼児教育関係職員研修事業	1,700	1,291	公私立の幼稚園・保育所・認定こども園の職員を対象に、その資質向上を図るため職種や経験年数に応じた研修や、保育者に必要なテーマを設けた研修会を実施した。
5	ふるさと教育の充実事業	2,440	2,115	児童生徒のふるさと和歌山に対する興味・関心を深め、ふるさとを愛する心を育むため、デジタルブック化した「わかやま何でも帳」等を活用したふるさと教育を推進した。
6	幼児教育総合プロジェクト事業	10,304	9,790	幼児教育アドバイザーを2人配置し、幼稚園・保育所・認定こども園を訪問して保育実践に対する助言を行い、幼児教育の質の向上を図った。また、幼児教育と小学校教育の連携及び円滑な接続を推進するため、幼児教育関係者と小学校教育関係者が集う研修会を地域別に3会場で開催した。
7	これからの和歌山の教育をつくる教職員の育成事業	3,270	2,006	教員の指導力向上のため、各教科等研究団体が実施する研究会での講演等における講師招聘の支援を33件行った。
8	きのくに学力向上総合戦略事業	22,272	17,692	学習到達度調査を実施し、学習到達状況や改善状況を把握するとともに、「結果分析と指導のポイント」や「評価テスト問題」等を各学校に提供した。また、教員を対象に「主体的な学び」充実に係る研修会を開催した。さらに、探究的な学びに係る実践力の向上を図る「きい t u b e で発信」事業や、一人一台端末で活用できる「チャレンジ！漢字の博士試験」を開始した。

学習到達度調査（10月）：小学校4・5年生を対象に国語、算数及び理科
（理科は、小学校5年生のみ）

評価テスト問題（7月、2月）：一人一台端末活用教材
（文部科学省C B Tシステムへの搭載）

9	わかやまスクールパワー アップ事業	10,000	9,238
10	日本語指導の充実事業	6,505	5,015
11	夜間中学の設置事業	57,635	56,108

県内の公立学校における、特色ある児童生徒の主体的な取組や、地域の実情に応じた取組等について支援を行った。（37団体）

帰国・外国人児童生徒等を対象に、日本語を集中的に学習する機会を提供するため、オンラインによる日本語指導講座を実施した。

県立夜間中学（新翔くろしお中学校）の設置に向けて、体験授業会、個別相談会及び入学希望者説明会を複数回開催した。また、施設及び教材備品を整備した。

教育センター学びの丘

I 教育センター費

1	基本研修事業	10,996	10,024
---	--------	--------	--------

小・中・高・特別支援学校の新規採用及び中堅教員並びに幼稚園等の新規採用及び中堅教員を対象とした研修を実施した。

〔初任者研修対象者〕

校 種	拠点校方式		単独校方式		備 考
	学校数	人数	学校数	人数	
小学校	61	68	0	0	
中学校	31	36	2	2	
高等学校	0	0	25	54	
特別支援学校	6	24	1	3	
計	98	128	28	59	

〔中堅教諭等資質向上研修対象者〕

区 分	小学校	中学校	高等学校	特別支援学校	計
中堅教員	117人	84人	45人	28人	274人

〔幼稚園等教員研修対象者〕

区分	公立幼稚園	私立幼稚園	認定こども園	計
新規採用教員	2人	14人	37人	53人
中堅教員	9人	4人	18人	31人
計	11人	18人	55人	84人

2 専門研修事業 2,912 2,621

教職員としての資質・能力の向上を図るため、校種、職種、教科、職務等に応じた研修を行った。また、長期研修として、教員が教育センター学びの丘で1年間、研究に取り組んだ。さらに、社会体験研修として、教員を社会教育施設、社会福祉施設等に1年間派遣し、資質・能力の向上を図った。

〔研修講座実施状況〕

講 座 数		73講座
受 講 者	小学校	883人
	中学校	561人
	高等学校	391人
	特別支援学校	199人
	計	2,034人

〔主な講座内容〕

- ・教育経営研修
- ・特別支援学級担当教員研修
- ・学校事務職員研修
- ・特別支援教育研修
- ・教職等専門研修
- ・養護教諭、栄養教諭研修
- ・主任等研修
- ・各教科等研修
- ・教育相談研修

3 研究推進・調査研究事業 6,173 5,562

研究推進事業として、県内の公立学校16校と2関係機関等に対し、授業力や学校力向上に係る研究支援を延べ31回行った。また、校内研修や個人研修等の充実に資するための動画研修パッケージ等の自主コンテンツを8本作成した。さらに、学び続ける教職員を支援するための事業として、授業づくりや校内研修に係る相談等の所員によるコンサルテーションや、一定のテーマに基づいて自由に話し合うオンライン協議を行った。加えて、新規事業として、研修観の転換等に向けた研究を行った。

健康体育課

I 保健体育総務費

1 教職員児童生徒健康管理・健康指導事業 62,915 61,444

児童生徒等及び教職員の健康の保持増進を図るため、学校保健安全法等に基づく健康診断を実施した。また、健康教育の推進及び健康課題の解決に向けた研修会や協議会を開催した。

2 学校給食費無償化事業 1,393,358 1,335,461

小中学校の学校給食費を無償化する市町村に対し一部補助するとともに、特別支援学校に通う児童・生徒等の保護者負担分の支援を実施した。

II 体育振興費

1 全国高等学校総合体育大会ヨット競技大会開催事業 21,270 21,270

令和7年度全国高等学校総合体育大会ヨット競技大会の開催に必要な経費に対して補助を行った。

2 部活動推進事業 66,318 47,739

中学校の運動部活動に部活動指導員を94人派遣した外、地域スポーツクラブでの活動体制整備に向けた実証事業等に要する必要な支援を実施した。

3	学校体育等指導事業	5,012	3,748	児童生徒の体力向上に向けて、体力調査を実施するとともに、体育授業の改善、適切な運動部活動等の運営に向けた研修会や授業研究会を開催した。
4	令和8年度全国高等学校総合体育大会開催準備事業	22,643	22,643	令和8年度全国高等学校総合体育大会において、和歌山県で実施する競技の開催準備を行った。

教育支援課

I 教育連絡調整費

1	不登校等総合対策事業	420,153	409,354	不登校・いじめ等問題を抱えている児童生徒の心のケアを図り、教員の資質向上及び各学校の教育相談体制を充実させるため、小学校160校、中学校108校、義務教育学校1校、県立高等学校45校及び特別支援学校10校にスクールカウンセラー等を配置し、小中学校の未配置校には、近隣の拠点校からスクールカウンセラーを派遣して対応した。また、スクールソーシャルワーカー等を29市町村（和歌山市は独自で配置）と県立高等学校21校に配置した。												
2	教育相談推進事業	2,275	2,275	児童生徒の心理的な諸問題や、特別な支援を必要とするこどもの教育に関して、教職員等の相談に応じ、問題解決のために専門的立場から支援した。 〔年間教育相談実施状況〕 <table><tr><td>校 種</td><td>小学校</td><td>中学校</td><td>高等学校</td><td>その他</td><td>計</td></tr><tr><td>相談件数</td><td>26件</td><td>26件</td><td>22件</td><td>0件</td><td>74件</td></tr></table>	校 種	小学校	中学校	高等学校	その他	計	相談件数	26件	26件	22件	0件	74件
校 種	小学校	中学校	高等学校	その他	計											
相談件数	26件	26件	22件	0件	74件											
3	学びのセーフティネット事業	62,009	59,390	不登校児童生徒等の学校復帰と学力保障のため、教育支援センターを設置する20市町に訪問支援員を配置した。												

II 保健体育総務費

1	学校安全管理指導事業	117,806	63,169	児童生徒の事故等に対応するための保険に加入するとともに、災害に対して給付金を支給した。
2	わかやま学校・地域防災力アップ事業	3,942	3,108	学校と地域の防災力アップのため、災害時に児童生徒を守る防災リーダー（教職員）と地域の支援活動等の担い手となる高校生を育成した。